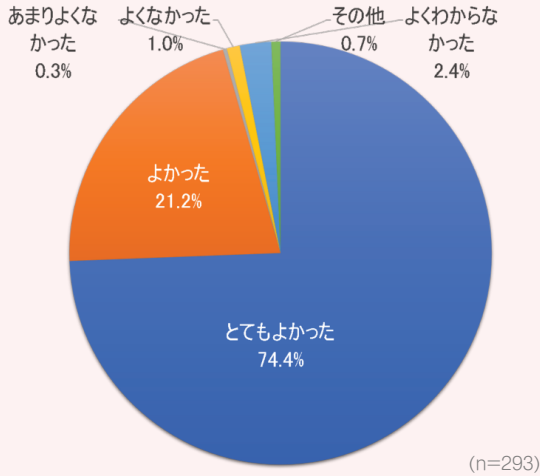


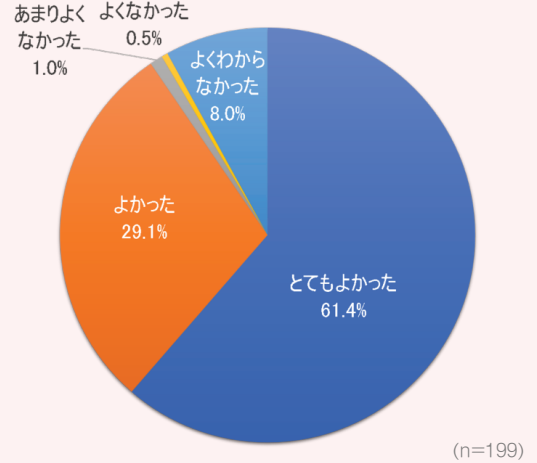
# 子が15歳以上の養子縁組家庭の 生活実態調査 報告書

日本財団が養子縁組家庭におこなったアンケート調査結果から、ほとんどの養親は子どもを育てたことを良かったと感じており、子どもの多くも親（養親）から愛されていると感じ、親に育てられて良かったと感じていることがわかりました。真実告知を受けたことは、多くの子どもが肯定的にとらえている一方で、養子縁組で嫌な思いをした子ども4人に1人はいることがわかりました。

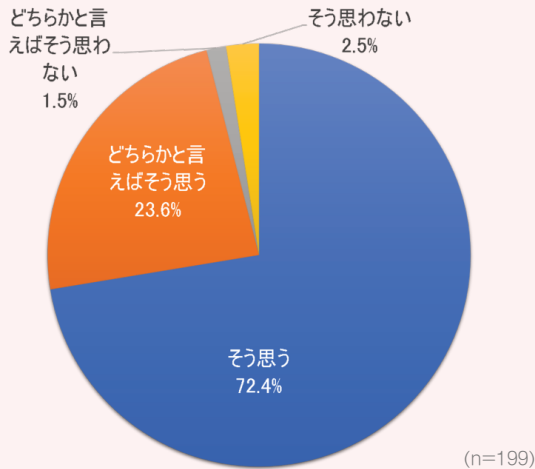
## 1. 養親の95%は、子どもを育ててよかったと感じている。



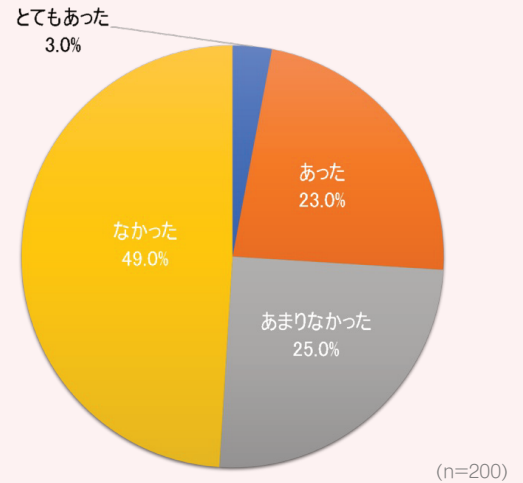
## 2. 子どもの90%は親（養親）に育てられてよかったと感じている。



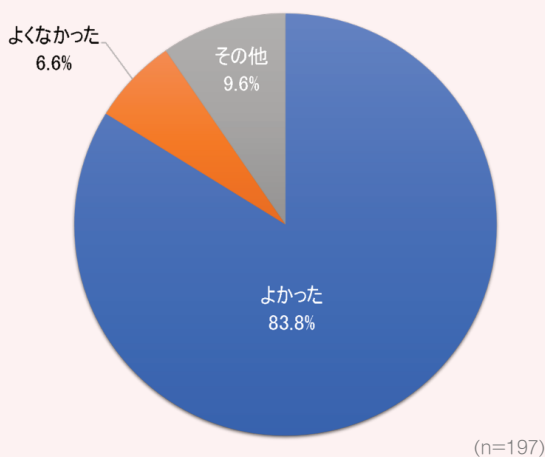
## 3. 子どもの96%は自分の親（養親）から愛されていると感じている。



## 4. 子どもの26%は養子であることで嫌な思いをしたことがあるが、74%は嫌な思いをしたことはなかった。



## 5. 子どもの7%は真実告知を受けたことを良くなかったと感じているが、83%は良かったと感じていた。



調査対象	特別養子縁組または未成年普通養子縁組で迎えた子どもが2016年8月1日時点で満15歳以上の世帯の、父母（養親）及び子（養子）
調査方式	郵送配布（養子には養親から転送）・留置・郵送回収における自記方式）
調査時期	2016年8月1日現在
調査期間	2016年12月16日～2017年1月31日
発送数	878世帯
有効回収数	養親294件、養子211件
有効回収率	養親33.5%、養子24.0%
実施主体	日本財団

### 追跡調査にご協力いただいた民間団体（順不同）

- ・公益社団法人家庭養護促進協会（大阪事務所）・公益社団法人家庭養護促進協会（神戸事務所）
- ・公益財団法人全国里親会・各里親会
- ・特定非営利活動法人環の会
- ・一般社団法人命をつなくゆりかご
- ・絆の会
- ・特別養子縁組グミの会
- ・こっこの会

# 社会的養護（児童養護施設、里親家庭）との比較

## 6. 中学校・高等学校など卒業者の進学率

本調査での進学状況を、厚生労働省「社会的養護における自立支援に関する資料」（平成29年2月24日 第10回新たな社会的養育の在り方に関する検討会および「児童養護施設におけるアフターケアの専門性と課題に関する研究」（主任研究者 有村大士）の調査結果を比較したところ、「大学等への進学率」は養子縁組が69.8%と施設で育った子の3倍、里親委託児と比べて高くなりました。また、高校等に進学したうち、「中途退学したもの」は、児童養護施設児が17.2%だったのに対し、今回調査は8.4%となりました。

中学校・高等学校等卒業者の進学率

	今回調査 (養子縁組)	児童養護 施設児	里親委託児	全中卒者 /全高卒者
高校等への進学率	99.3%	97.0% (※1)	97.1% (※1)	98.8% (※1)
うち、中途退学 したもの	8.4%	17.2% (※2)		
専門学校、短大、大 学等への進学率	69.8% (※3)	29.3% (※1)	49.3% (※1)	77.0% (※1)
うち、中途退学 したもの	11.7%			

※1 …厚生労働省「社会的養護における自立支援に関する資料」（平成29年2月24日 第10回新たな社会的養育の在り方に関する検討会 参考資料1）より。

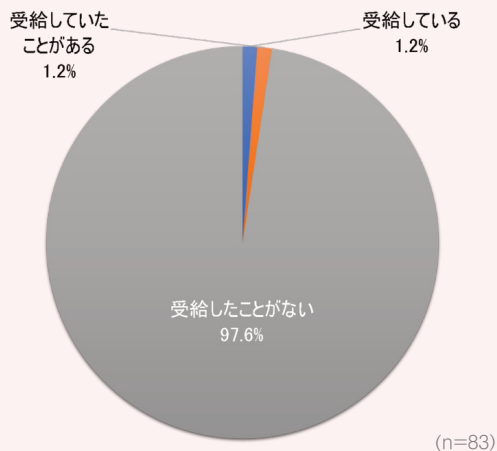
※2 …「児童養護施設におけるアフターケアの専門性と課題に関する研究」（主任研究者 有村大士）より。

※3 …無回答26.7%が含まれている集計結果である。

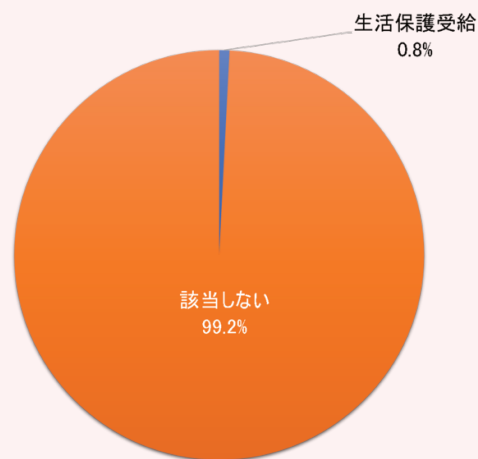
## 7. 生活保護の受給率

養子縁組家庭の生活保護受給率は1.2%で、一般の0.8%とほぼ変わりありませんでした。一方、東京都の児童養護施設等退所者の生活保護の受給率は10.7%と今回調査のほぼ9倍でした。

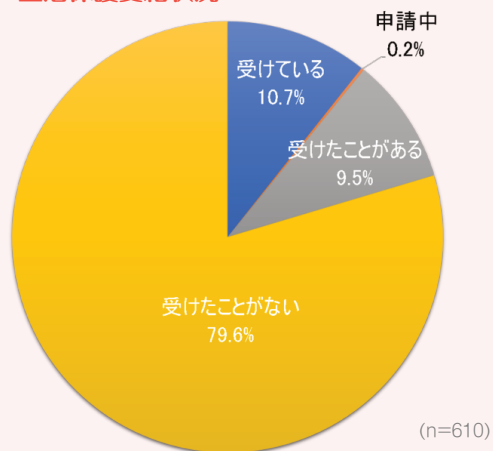
### 7-1. (父母と離れて生活している場合) 父母のもとから出た後の生活保護受給



### 7-2. 「被保護者調査」との比較 生活保護受給率



### 7-3. 「東京都における児童養護施設等退所者の実態調査」との比較 生活保護受給状況



※「平成27年度被保護者調査」における年齢別の被保護人員を「平成27年国勢調査」で除した割合を、本調査の年齢（各年）別の分布に準じた加重平均値として算出した